

演題 30. 平成 19 年度千臨技細胞検査研究班精度  
管理報告—体腔液の細胞判定と PAS 反応の実施—

○北村真（東邦大学医療センター佐倉病院） 須藤  
一久（千葉県立佐原病院） 時田和也（JFE 健康保  
険組合川鉄千葉病院） 小山芳徳（帝京大学ちば総  
合医療センター） 有田茂実（千葉県こども病院）  
高岡勝之（総合病院国保旭中央病院） 滝川紀子（千  
葉大学病院） 永澤友美（㈱江東微生物研究所千葉  
支所） 村田行則（国立がんセンター東病院）  
千臨技細胞検査研究班精度管理委員

【目的】千臨技細胞検査研究班では、体腔液におけ  
る適正な細胞判定と PAS 反応における陽性物質の検  
出を目的として精度管理事業を行った。各施設から  
得られた回答の集計結果と細胞判定および PAS 反応  
の評価について報告する。

【方法】参加施設に腹水を塗沫したパパニコロウ染  
色標本と凍結密封した同腹水の塗沫未染色標本の計  
2 枚を配布した。パパニコロウ染色標本にて細胞判  
定を行い、未染色標本に対して PAS 反応を実施して  
もらった。細胞判定結果と PAS 反応に関する調査の  
回答を標本とともに回収し、回答の集計および細胞  
判定と PAS 反応の評価を行った。

【結果】参加施設数は 47 施設で、内 1 施設は通常  
業務で PAS 反応を行っていないという理由から、細  
胞判定のみの参加であった。集計および評価結果に  
ついては、実際の細胞像や評価基準とともに当日報  
告する。

043-462-8811（代表）